

令和2年度 東区組織目標

組織名	東区	区長	石井 哲也
組織の目的・方向性	人口減少や少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会や区自治協議会をはじめ、地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進します。区職員が一丸となり、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の特色を生かした魅力の創出や活用に取り組むことで、人もまちも元気で笑顔あふれる東区を目指します。		

東区組織目標

東区では、区ビジョンまちづくり計画で掲げた区の将来像の実現を目指して、これまで重点的に進めてきた「安心安全なまちづくり」、「支え合い助け合うまちづくり」、「魅力あふれるまちづくり」に向けた様々な取り組みを引き続き実施していきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 2 高齢者が安心して生活できるように支援し、「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組みを推進します。
- 3 地域の健康課題に応じた子どもから高齢者までの健康づくりを推進するとともに、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。
- 4 歴史・文化の普及啓発や活用、憩いの空間づくりを通じて、地域を誇りに思う意識の醸成や活性化を進めます。
- 5 市内有数の企業が集まる「産業のまち東区」を広くPRするとともに、産業を活用したまちづくりを進めます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 防災出前講座については、コロナ禍の影響によりキャンセルがあり、目標回数を達成しませんでした。その中でも、実施に向けた方法などを丁寧に説明することで実施につなげ、防災意識の向上を図りました。</p> <p>2 対象の全世帯へ訪問を実施し、高齢者の生活実態把握とニーズ調査を行い、状況に応じて適切なサービスへ繋げることができました。また、支え合いのしくみづくり会議情報交換会を開催し、各コミ協の取組が円滑に進められるよう進捗状況の確認や情報共有を図りながら支援を行っ</p>				

	<p>た結果、2地域において住民主体の訪問型生活支援が開始となりました。</p> <p>3 子どものむし歯の改善に向け、こども食堂、保育園等と連携し、歯みがきの習慣化や食育の健康相談を実施するとともに、健康寿命延伸のためコミュニティ協議会と協働し、介護予防講座を開催しました。また、子育て支援講座を開催し、コロナ禍における育児への不安感・孤立感の解消に努めました。</p> <p>4 歴史・文化の普及啓発・活用では、新潟市シティガイド等と連携したまち歩きや、歴史をめぐる撮り歩きなどを通じて、地域の誇りづくりに繋げるとともに、地域住民や有識者で構成するじゅんさい池みらい会議を立ち上げ、現地学習を含む計3回の会議を開催し、課題の整理等を行いました。</p> <p>5 「産業のまち東区」のPRでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、工場見学を含めた「工場夜景バスツアー」の実施回数は減りましたが、感染防止対策を徹底し、新しい生活様式の実践と経済社会活動の再開の両立に努めました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 区民に対する防災意識の啓発は重要であることから、丁寧な説明を継続することで、防災出前講座に多くの団体から受講していただき、防災意識の醸成に努めていきます。</p> <p>2 高齢者見守り訪問を引き続き実施するほか、「地域包括ケアシステム構築」に向けて地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。</p> <p>3 対象を放課後児童クラブに拡大するなど、子どものむし歯の改善に向けた取り組みを継続するとともに、介護予防講座も引き続き実施します。また、新しい生活様式に対応した子育て支援講座を開催するなど、親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組みます。</p> <p>4 東区の歴史について普及啓発を図るため、引き続きまち歩きを実施するとともに、貴重な自然環境を有するじゅんさい池を未来につなぐため、活用方法等の検討を進めます。</p> <p>5 コロナ禍においても「産業のまち東区」をいつでも誰でも楽しめるように、公式インスタグラムを活用した継続的な情報発信に取り組みます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-250-2710
------------	--------------

年度	令和2年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	区民や地域の団体との連携により、区民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。 また、職員研修等を通じて市民満足度の向上を図るとともに、様々な施設や商業テナントが入る区役所として、いっそう区民から親しんでいただけるような事業を展開していきます。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	1	地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。	・防災出前講座の開催 ・自主防災組織等の活動支援 ・避難所運営体制の強化 ・啓発事業	防災出前講座の開催	31自治会等で実施	40自治会等で実施	49自治会等で実施	35自治会等で実施	18自治会等で実施	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・R2年度は40団体から申し込みがありましたが、コロナ禍でのキャンセルが相次ぎ、目標には至りませんでした。 ・しかしながら、キャンセル団体等に対し、講座受講に向けた注意点やリモート方式による方法などを丁寧に説明することにより、3団体が受講し、地域防災力の向上を図ることができたと考えています。	一部未達成
2		区職員の研修により、市民の皆さまから満足していただけるよう、サービスの質を高めていきます。	・区独自の職員研修の実施	異動者研修 メンタルヘルス研修 救命講習 接遇研修等の実施	異動1回 メンタル2回 救命1回 接遇1回 交通安全研修1回	異動1回 メンタル2回 救命1回 交通安全研修1回	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	区独自研修5回 (異動、メンタル、救命、サービス向上研修を予定)	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応1回 交通安全1回	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・新型コロナウイルスの感染予防対策のため、参加人数の制限やWEB形式による個別受講の方法への変更があったものの、予定どおり研修を実施し、区職員のサービスの質の向上を図ることができました。	達成
3		東区役所での「にぎわい」の創出を促進します。	・南口エントランスホール活用事業 ・市の事業によるパネル展や展示会など	南口エントランスホールの活用日数(日)	230	295	292	250	333	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画) ・物販、イベント、パネル展示等の活用日数	・新型コロナの影響による利用者の減もありましたが、市や区の事業PRによるパネル展示もあり、活用日数は当初の目標を上回りました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
地域防災力の向上のため、自治会やコミュニティ協議会等において「防災出前講座」を開催し、地域の特性や防災基礎知識を学んでいたが、災害時の円滑な避難行動や平時からの備えに結びつけていきます。 また、人材育成の面では、区独自の職員研修の実施や東区サービス向上委員会の活用により、情報共有しながら組織の連携強化を図り、市民に満足されるサービスを提供できる職員を育成します。 さらに、区役所における賑わいづくりとして南口エントランスホールの活用事業を引き続き実施し、地域の多様な活動の場とするほか、市や区の事業紹介としてパネル展を開催するなど利用促進を図ります。	防災出前講座については、コロナ禍の影響により目標回数を達成しませんが、その中でも、実施に向けた方法などを丁寧に説明することで、実施につながることができました。次年度も丁寧な説明を継続することで、多くの団体から受講していただき、地域防災力の向上を図っていきます。 区独自の職員研修については、新型コロナウイルスの感染予防対策として引き続きWEB等を活用しながら実施していくものの、対面による実践形式での研修実施についてのニーズもあるため、より効果的な研修方法について今後検討し、区職員のサービスの質の向上を図っていきます。 区役所での賑わいづくりとして、南口エントランスホールにおいて物販や展示会等の様々な活動が行われました。また、市や区の事業紹介としてのパネル展を開催するなど、事業PRの場としても庁舎の活用を図りました。新型コロナに対しては、新しい生活様式に対応したガイドラインを策定し運用してきましたが、今後も状況に応じてガイドラインを見直し、エントランスホールを活用し、賑わいづくりができるよう努めていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-250-2380

年度	令和2年度
組織名(部)	東区役所
組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	地域の人人とのふれあいや支え合いのなかで、健康で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、区民、団体、事業者、区社会福祉協議会など、地域全体と協働で地域福祉の推進に取り組みます。

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標	R2結果			補足・参考指標
1	2	高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援するとともに「地域包括ケアシステムの構築」に向けて取り組みを推進します。	・高齢者の生活実態把握とニーズ調査の実施 ・支え合いのしくみづくりの深化	東区全域での高齢者世帯への訪問調査の実施	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	・訪問対象世帯 75歳以上で介護認定を受けていない、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯 ・特色ある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・民生委員に協力いただき、すべての対象世帯を訪問した結果、二次訪問が必要と判断した世帯について、保健師等が140世帯を訪問し、状況に応じて介護保険申請10件、介護予防(総合事業)申請2件など、適切なサービスに繋げました。	達成
				住民主体の訪問型生活支援を実施した地域	-	-	2	2	2	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・1層、2層推進員と連携のもと、東区内の12圏域の2層協議体のうち2地域で、住民主体の訪問型生活支援が開始となりました。	達成
				東区支え合いのしくみづくり会議情報交換会の開催(回)	-	3	4	4	4	・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・東区1層協議体を2回開催し、区として取り組むべき課題について検討しました。また2層協議体の情報交換会と研修会を各1回ずつ開催し、情報共有を図りました。	達成
2	3	地域の健康課題に応じた子どもから高齢者までの健康づくりを推進します。	・東区歯っぴーすまいるプロジェクトの推進	子ども食堂・認可保育園・認定こども園・幼稚園における歯と食育の健康相談・健康教育の実施(回)	-	-	-	25	26	・特色ある区づくり事業 ・新浜市生涯歯科保健計画	・子ども食堂で10回(5か所×2回)、保育園・認定こども園・幼稚園で15回(15園)実施しました。 ・放課後児童クラブ1か所に働きかけ、健康教育を1回実施しました。	達成
				コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座の実施(回)	-	-	6	10	10	・特色ある区づくり事業	・桃山コミ協で6回(2会場×3回)、東中野山コミ協で4回(1会場)実施し、計10回開催しました。あわせて次年度継続への支援も行いました。	達成
3		子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。	・「マタニティ期からつながるすくすく子育て応援事業」で取り組む事業を中心とした、「い〜てらす」及び「わいわいひろば」における子育て支援講座の開催	主な子育て支援講座の開催(回)	204	90	91	100	118	・H30からは区として重点的に取り組む事業数に変更(H29までは全ての実施事業数) ・特色のある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画)	・コロナに対応するため事業の実施スケジュール、参加者の調整など、工夫を重ねながら予定した事業数を上回って開催しました。	達成
4		児童虐待に対する迅速な対応と虐待を未然に防ぐために、関係機関と連携し虐待が起こる前にも情報共有を行います。	・児童虐待防止にかかわる関係機関との情報の共有	区内小中学校への訪問(回)	-	-	69	60	77		・3か月に一度の訪問を基本にして区内の小中学校を定期訪問し、情報共有を図りました。	達成
5		継続的に業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	・各係、各グループで、業務や窓口等における継続的な業務改善を実施します。	改善実践報告の件数(件)	-	-	18	15	28	・各係、各グループ3件以上の取組	・継続的に効率的・効果的な業務や窓口改善に取り組み、事務の効率化と市民サービスの向上に努めました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>超高齢社会が進展しているなか、住み慣れた地域でいつまでも元気で健康に暮らし続けられるよう、高齢者の生活実態把握とニーズ調査、支援に取り組みます。また、「地域包括ケアシステム」の構築に向け、各コミ協が新たに住民主体の訪問型生活支援などを開始できるよう支え合いのしくみづくり推進員と連携を図りながら取り組んでいます。</p> <p>東区の健康課題である子どものむし歯の改善に向け、子ども食堂における歯と食育の健康相談会の開催や、保育園・認定こども園・幼稚園におけるむし歯予防教室を開催します。また、コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座を開催するなど、健康寿命延伸に向けた取り組みを推進します。</p> <p>子育て支援事業は、「い〜てらす」や「わいわいひろば」において、子育て支援講座を開催するなど親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組みます。児童虐待については、関係機関と連携して発生予防・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>窓口サービスにおける市民満足度の更なる向上を目指し、継続的な業務改善に取り組み、効率的・効果的な市民サービスを行います。</p>	<p>高齢者の生活実態把握とニーズ調査は、対象の全世帯への訪問を実施し、状況に応じて適切なサービスへ繋げることができました。また、引き続き、支え合いのしくみづくり会議情報交換会を開催し、各コミ協の取組が円滑に進められるよう進捗状況の確認や情報共有を図りながら支援を行った結果、先行する地域の事例を参考に、住民主体の訪問型生活支援の検討をする地域も出てきています。今後も引き続き、地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。</p> <p>子どものむし歯の改善に向け、子ども食堂、保育園等と連携し、歯みがきの習慣化や食育の健康相談を実施しました。今後は対象を放課後児童クラブに拡大するなど、むし歯の改善に向けた取り組みを継続します。また、健康寿命延伸のためコミュニティ協議会と協働し、介護予防講座を開催しました。3年度は高齢者支援事業として高齢者見守り訪問と介護予防事業を統合し、新たな取り組みとして実施します。</p> <p>子育て支援講座は「わいわいひろば」「い〜てらす」において講座を開催、コロナ禍における育児への不安感・孤立感の解消に努めました。また、児童虐待の発生予防、早期発見のため区内小中学校への定期訪問を実施し、関係機関との情報共有体制の強化を図りました。今後も活動を継続していきます。</p> <p>業務改善では、新型コロナウイルス感染症予防に対応するため各種講座の参加申込みを予約制としたほか申請に不足書類をお知らせする文書を作成し、会場や窓口の混雑を緩和につなげることができました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-250-2110

年度	令和2年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域のコミュニティ活動を支援し、区民との協働によるまちづくりを進めます。また、東区の活性化に向けて地域課題の解決に取組むとともに区内の産業、文化、スポーツ等の振興に努めます。		

作成日	R2.4.1
修正日	
評価日	R3.3.31

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標				R2結果
1	4	魅力ある地域の歴史の普及啓発等を通じて、誇りづくりや活性化を進めるとともに、豊かな自然環境を活かした憩いの空間づくりに取り組めます。	・東区歴史浪漫プロジェクトの実施 ・じゅんさい池みらいプロジェクトの実施	歴史浪漫プロジェクトでのまち歩き(回数) 有識者会議による検討	1	2	3	3	3		・歴史浪漫プロジェクトでは、新潟市シティガイド等と連携したまち歩きや、歴史をめぐる撮り歩きを実施しました。 ・じゅんさい池みらいプロジェクトでは、会議を立ち上げ、現地学習を含む計3回の会議を開催し、課題の整理等を行いました。	達成
2	5	市内有数の企業が集まる「産業のまち東区」を広くPRするとともに、産業を活かしたまちづくりを進めます。	・東区工場夜景バスツアーの実施	東区工場夜景バスツアーの実施	2	3	4	6	4	・区内産業関連施設の見学を含めた工場夜景バスツアーを6回実施	・新型コロナウイルス感染症の影響により、4回の実施となりました。実施にあたっては、定員数の削減や検温など感染防止対策を徹底しました。	一部未達成
3		住民自治推進の核となるコミュニティ協議会の活動活性化を促進し、住民と行政の協働によるまちづくりを実践していきます。	・地域との意見交換の実施 ・コミュニティ協議会等の活動を支援するため、運営に対する訪問指導・相談の実施	区政懇談会の実施方法を検討 コミ協等を対象とした訪問指導の実施(回数)	-	-	-	12	延べ22回	・コミュニティ協議会やコミュニティ施設を管理運営する団体を対象とした訪問指導を東区全コミ協で実施。	・区政懇談会については、コミュニティ協議会と協議しながら実施方法を検討し、開催時期の見直しや対象者を限定することなどにより、コロナ禍でも実施できるような内容となりました。 ・東区全コミ協に対して、補助金の事務取扱いを中心とした個別訪問による指導を実施するとともに、コミュニティ施設を管理運営する団体に対して、管理運営に関することや税理士・社会保険労務士による訪問指導などを行いました。	達成
4		区バスをはじめとする区内の公共交通について更なる利用促進を図ります。	・区バスの利用促進	区バスの利用促進方法の検討・実施	-	-	-	利用促進方法の検討・実施	利用促進方法の検討・実施	・「東区生活交通改善プラン」に基づき設定	・区バスの利用促進の検討にあたり、都市交通政策課との情報共有を行うとともに、東区自治協議会委員との意見交換を行いました。また東区自治協議会提案事業と連携し「東区バス路線見直しに向けた現状分析業務委託」等を行いました。	達成
5		東区に関する様々な情報や魅力をSNSなどさまざまなメディアを通じ、多くの区民に提供します。	・Facebookを中心に、さまざまなメディアを活用した情報発信を強化	ぬたりんFacebookへの投稿数	246	240	252	250	251	・令和元年度実績に基づき設定 ・ぬたりんFacebookやTwitterを活用し、迅速に情報を発信します。	・東区に関する様々な情報について、適切なタイミングで適切なコンテンツを提供することに努め、目標以上にFacebookへの投稿を行いました。	達成

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>淳足柵や牡丹山諏訪神社古墳などの歴史について普及啓発していくとともに、地域の誇りづくりを進めるため、東区歴史浪漫プロジェクトにおいて、新潟市シティガイド等と連携したまち歩きを実施します。</p> <p>じゅんさい池などの豊かな自然環境を活かした憩いの空間づくりに取り組むため、じゅんさい池みらいプロジェクトにおいて、有識者会議を立ち上げ、活用方法などの検討を行います。</p> <p>「産業のまち」という東区の魅力の再発見と区民の誇りづくりのため、東区工場夜景バスツアーを拡充して実施します。</p> <p>区民との協働によるまちづくりを推進するため、区政懇談会を通じた意見交換を行う予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、実施方法などについて検討します。また、協働の要となる地域コミュニティ協議会の活動を活性化させるため、訪問指導による地域コミュニティ協議会の支援を行います。</p> <p>公共交通の利用促進を図るため、「東区生活交通改善プラン」に基づき、東区自治協議会と協働しながら、区バスの利用促進方法を検討・実施します。</p> <p>東区に関する様々な魅力や情報を適切なタイミングで発信するため、Facebookを中心としたSNSにより迅速な情報発信を行います。</p>	<p>歴史浪漫プロジェクトについては、まち歩きの参加者アンケート結果が100%の満足度であり、撮り歩きのアンケート結果は87%の満足度であったことから、今後も区内の歴史について普及啓発を図り、地域の誇りづくりに繋げていきます。</p> <p>じゅんさい池みらいプロジェクトについては、今年度立ち上げた地域住民や有識者で構成するじゅんさい池みらい会議を3回開催しました。今後も方向性や活用方法等の検討を進め、「(仮)じゅんさい池みらいプラン」の策定に向けて取り組みます。</p> <p>工場夜景バスツアーについては、当初の目標を達成することができませんでしたが、新しい生活様式の実践と経済社会活動の再開の両立を図ることができました。</p> <p>区政懇談会については、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、書面開催による意見交換を実施したほか、参加人数を絞り込んだ区長懇談会を開催し、直接、意見交換できる場を設けました。次年度については、開催時期を見直し、対象者を限定した意見交換を実施することで、引き続き、区民と協働したまちづくりを実践していきます。</p> <p>コミュニティ協議会やコミュニティ施設の管理運営する団体への訪問指導を行い、各団体の活動を支援しました。次年度も、地域の核となるコミュニティ協議会、まちづくりの拠点となるコミュニティ施設の活性化につながるような支援をしていきます。</p> <p>区バスの利用促進については、東区自治協議会と連携し、「東区バス路線見直しに向けた現状分析業務委託」を実施したことから、今後はこの分析結果を踏まえ、検討していきます。</p> <p>情報や魅力の発信については、SNS、区だより、区ホームページ、スペシャルサイトを通じたタイムリーな情報発信に努めてきました。今後は、区だよりや区ホームページのほか、東区公式インスタグラムや新潟市公式LINEを活用し、必要な情報を適切な手段、方法で届けられるよう取り組んでいきます。</p>